

産婦人科学

1 構 成 員

	平成 25 年 3 月 31 日現在	
教授	1 人	
病院教授	1 人	
准教授	1 人	
講師（うち病院籍）	2 人	(2 人)
助教（うち病院籍）	3 人	(1 人)
診療助教	1 人	
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	2 人	
医員	4 人	
研修医	2 人	
特任研究員	0 人	
大学院学生（うち他講座から）	4 人	(0 人)
研究生	5 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	0 人	
その他（技術補佐員等）	9 人	
合計	35 人	

2 教員の異動状況

金山 尚裕（教授）	（H11.11.1～現職）
杉原 一廣（准教授）	（H19.3.1～19.3.31 助教授；H19.4.1～現職）
伊東 宏晃（病院教授）	（H20.7.1～H21.3.31 講師；H21.4.1～H22.12.31 准教授；H23.1.1～現職）
宮部 勇樹（助教）	（H17.7.1～19.3.31 助手；H19.4.1～現職）
村上 浩雄（助教）	（H22.4.1～現職）
田村 直顕（助教）	（H22.4.1～現職）
鈴木 一有（講師）	（H19.6.1～H21.9.30 助教；H21.10.1～現職）
中村 友紀（診療助教）	（H20.10.1～現職）
内田 季之（講師）	（H21.6.1～H23.4.30 助教；H23.5.1～現職）
谷口千津子（特任助教）	（H22.1.1～現職）
古田 直美（特任助教）	（H23.12.1～現職）

3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 24 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	13 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	27.69	
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	0 編	

そのインパクトファクターの合計	0.00	
(3) 総説数 (うち邦文のもの)	27 編	(24 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(4) 著書数 (うち邦文のもの)	3 編	(0 編)
(5) 症例報告数 (うち邦文のもの)	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	

(1) 原著論文 (当該教室所属の者に下線)

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Suzuki K, Itoh H, Muramatsu K, Yamazaki K, Furuta N, Nagahashi K, Tamura N, Kato M, Uchida U, Sugihara K, Sumimoto K, Kanayama N. Feto-Umbilical blood flow obstruction increases placental tissue oxygenation. Clin Exp Obstet Gyn, 2012.
2. Suzuki K, Itoh H, Muramatsu K, Yamazaki K, Nagahashi K, Furuta N, Tamura N, Uchida T, Sugihara K, Sumimoto K, Kanayama N. Transient ligation of umbilical vessels elevates placental tissue oxygen index (TOI) values measured by near-infrared spectroscopy (NIRS) in clawn miniature pig animal model. Clin Exp Obstet Gyn 39(3): 293-298, 2012.
3. Kohmura YK, Kanayama N, Muramatsu K, Tamura N, Yaguchi C, Uchida T, Suzuki K, Sugihara K, Aoe S, Sasaki T, Suganami T, Ogawa Y, Itoh H. Association Between Body Weight at Weaning and Remodeling in the Subcutaneous Adipose Tissue of Obese Adult Mice With Undernourishment In Utero. Reprod Sci 7, 2013.
4. Nagahashi K, Umemura K, Kanayama N, Iwaki T. Fusion of fluorescent protein to puromycin N-acetyltransferase is useful in Drosophila Schneider S2 cells expressing heterologous proteins. Cytotechnology 65(2): 173-178, 2013.
5. Yamazaki K, Suzuki K, Itoh H, Muramatsu K, Nagahashi K, Tamura N, Uchida T, Sugihara K, Maeda H, Kanayama N. Cerebral oxygen saturation evaluated by near-infrared time-resolved spectroscopy (TRS) in pregnant women during caesarean section - a promising new method of maternal monitoring. Clin Physiol Funct I 33(2): 109-116, 2013.
6. Shibata TK, Matsumura F, Wang P, Yu S, Chou CC, Khoo KH, Kitayama K, Akama TO, Sugihara K, Kanayama N, Kojima-Aikawa K, Seeberger PH, Fukuda M, Suzuki A, Aoki D, Fukuda MN. Identification of mono- and di-sulfated N-acetyl-lactosaminyl oligosaccharide structures as epitopes specifically recognized by humanized monoclonal antibody HMOCC-1 raised against ovarian cancer. J Biol Chem. 287(9): 6592-6602, 2012.

インパクトファクターの小計 [10.5]

- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

1. Iwaki T, Nagahashi K, Kobayashi T, Umemura K, Terao T, Kanayama N. The first report of uncontrollable subchorionic and retroplacental haemorrhage inducing preterm labour in complete PAI-1 deficiency in a human. *Thromb Res* 29(4): 161-163, 2011.
2. Miyazaki K, Ohno K, Tamura N, Sasaki T, Sato K: CLP36 and RIL recruit α -actinin-1 to stress fibers and differentially regulates stress fiber dynamics in F2408 fibroblasts. *Exp Cell Res* 318: 1716-1725, 2012.

インパクトファクターの小計 [6.12]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. Ozawa H, Asahina T, Murakami H, Yaguchi C, Kohmura Y, Kohno E, Hirano T, Horiuchi K, Tamura N, Sugihara K, Ooi H, Kanayama N: Zinc coproporphyrin I derived from meconium has an antitumor effect associated with singlet oxygen generation. *Fetal Diagn Ther* 33: 90-97, 2013.
2. Park SK, Yoon J, Wang L, Shibata TK, Motamedchaboki K, Shim KJ, Chang MS, Lee SH, Tamura N, Hatakeyama S, Nadano D, Sugihara K, Fukuda MN: Enhancement of mouse sperm tail motility by trophinin-binding peptide. *Reprod Biol Endocrinol*. 101(10), 2012.
3. Suzuki-Anekoji M, Suzuki A, Wu SW, Angata K, Murai KK, Sugihara K, Akama TO, Khoo KH, Nakayama J, Fukuda MN, Fukuda M: Regulation of steroid hormones by HNK-1 Chst10 in vivo in the mouse. *J Biol Chem*. 288(7): 5007-5016, 2013.
4. Hikiji W, Tamura N, Shigeta A, Kanayama N, Fukunaga T: Fatal amniotic fluid embolism with typical pathohistological, histochemical and clinical features. *Forensic Sci Int* 10, 226(1-3): 16-19, 2013.
5. Takagi K, Satoh K, Muraoka M, Takagi K, Seki H, Nakabayashi M, Takeda S, Yoshida K, Nishioka N, Ikenoue T, Kanayama N, Kanzaki T, Sagawa T, Matsuda Y: A mathematical model for predicting outcome in preterm labour. *J Int Med Res* 40(4): 1459-166, 2012.

インパクトファクターの小計 [11.07]

(2-1) 論文形式のプロシーディングズ

(2-2) レター

(3) 総 説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 金山尚裕 : 早産の予防 臨床婦人科産科 66(5): 208-211, 2012.
2. 金山尚裕 : ウリナスタチンと早産治療・予防 産婦人科の実際 61(4): 631-363, 2012.
3. 伊東宏晃 : 妊娠中の体重増加 臨床婦人科産科 66(6): 430-434, 2012.
4. 金山尚裕 : 分娩時大出血への対応 臨床婦人科産科 66(6): 446-450, 2012.
5. 金山尚裕 : 早産に関連した臨床検査 臨床検査 医学書院 56(7): 755-760, 2012.
6. 伊東宏晃 : シーンで学ぶ産婦人科診療ガイドライン 2011 ペリネイタルケア メディカ出版

- 31(6): 60-62, 2012.
7. 田村直顕, 金山尚裕: 切迫早産の診断と管理 産婦人科の実際 金原出版(株) 61(7): 973-978, 2012.
 8. 金山尚裕: 知っておきたい重症産褥合併症 産科と婦人科 診断と治療社 19(9): 9, 2012.
 9. 伊東宏晃: 妊娠中のストレスと児への閉胸—疫学調査より— 周産期医学 42(7): 845-848, 2012.
 10. 金山尚裕: 羊水塞栓症の対処法 周産期医学 42(11): 1481-1484, 2012.
 11. 金山尚裕: 羊水塞栓症の概念と妊産婦死亡例における診断 妊産婦死亡 産婦人科の実際 61(9): 1329-1334, 2012.
 12. 内田季之, 金山尚裕: 前置胎盤・低置胎盤の疫学 臨床婦人科産科 66(9): 712-716, 2012.
 13. 鈴木一有, 金山尚裕: 症状別に見る分娩急変時の対応 分娩後、胸の痛みと息苦しさを訴えている! (肺塞栓症) ペリネイタルケア メディカ出版 32(1): 47-50, 2013.
 14. 金山尚裕: 血栓・止血の異常と妊娠 産科と婦人科 診断と治療社 80(1): 9, 2013.
 15. 内田季之, 金山尚裕: 私たちの教室紹介 浜松医科大学産婦人科学教室 産科と婦人科 診断と治療社 80(1): 103-105, 2013.
 16. 伊東宏晃: 抗 SS-A 抗体、抗 SS-B 抗体陽性症例にはどう対応すべきか? 分子リウマチ治療 先端医学社 6(1): 9-14, 2013.
 17. 伊東宏晃: DOHaD 仮説とメタボリックメモリー 最新医学 最新医学社 68(1): 105-109, 2013.
 18. 内田季之, 金山尚裕: 分娩時異常出血をきたす疾患 産婦人科の実際 金原出版 62(2): 147-152, 2013.
 19. 金山尚裕: 弛緩出血—DIC 先行羊水塞栓症— 周産期医学 東京医学社 43(1): 25-27, 2013.
 20. 内田季之: 妊娠 29 週、胎児母体間輸血症候群によって重症貧血を呈し迅速な対応で良好な児の予後が得られた 1 例 関東連合産科婦人科学会誌 49(4): 683-687, 2012.
 21. 内田季之: シーンで学ぶ産婦人科診療ガイドライン 2011 第 6 回分娩時の異常と対応① ペリネイタルケア 31(10): 46-51, 2012.
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)
1. 岩城孝行, 長橋ことみ: 先天性線溶因子異常症と妊娠 産科と婦人科 診断と治療社 80(1): 47-54, 2013.
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの
1. 平林靖子, 小島有喜, 長坂康子, 張 曉慧, 高橋和子, 佐藤典子, 布村眞季, 金山尚裕: 原因不明の弛緩出血を生じ摘出子宮の免疫組織学的検査の結果、羊水塞栓症と診断した 1 例 産科と婦人科 診断と治療社 80(2): 264-269, 2013.
 2. 木村 聡, 田村直顕, 金山尚裕: 羊水塞栓症登録事業のまとめ 2010—心肺虚脱初発群と出血 DIC 初発群の血清マーカーおよび患者背景の比較— 産婦人科の実際 金原出版 62(2): 253-257, 2013.
 3. Fukuda MN, Sugihara K: Cell adhesion molecules in human embryo implantation. Sheng Li Xue Bao.

2012 Jun 25;64(3): 247-258, 2012.

4. Fukuda MN, Hatakeyama S, Sugihara K.: Carbohydrate mimetic peptides as research reagent and therapeutic. Biol. Pharm. Bull. 35(10): 1626-1632, 2012.
5. Kakogawa J, Kanayama N: Application of near-infrared spectroscopy for the evaluation of placental oxygenation. The open medical devices journal 4: 22-27, 2012.

インパクトファクターの小計 [1.66]

(4) 著 書

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
 1. 金山尚裕 4.分娩・産褥時の症候 3 異常出血⑤羊水塞栓症 症例から学ぶ周産期診断ワークブック メジカルビュー社: 149-153, 2012.
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの
 1. Hatakeyama S, Shibata TK, Tobisawa Y, Ohyama C, Sugihara K, Fukuda MN: Tumor Targeting by a Carbohydrate Ligand-mimicking Peptide. Glycosyltransferases: Methods and Protocols' of Methods in Molecular Biology. Published by Humana Press. USA 2012.
 2. Fukuda MN, Sugihara K, Akama TO: Alpha-Mannosidase IIx (MAN2A2) Handbook of Glycosyltransferases and Related Genes. Published by SpringerReference. USA 2013.

(5) 症例報告

4 特許等の出願状況

	平成 24 年度
特許取得数（出願中含む）	2 件

1. 「METHODS AND COMPOSITIONS RELATED TO ANNEXIN 1-BINDING COMPOUNDS」
特願 2012-546245（平成 24 年 6 月 22 日移行日）
日、米、欧、カナダ、シンガポールへ移行済み
US 13/515,930（平成 24 年 6 月 14 日移行日）
EP 10803326.7（平成 24 年 6 月 25 日移行日）
CA 2784645（平成 24 年 6 月 14 日移行日）
SG 201204665-2（平成 24 年 6 月移行日）
2. 「精子活性化剤およびそれを用いた活性化方法」
特願 2012-206711（平成 24 年 9 月 20 日出願）

5 医学研究費取得状況

(万円未満四捨五入)

	平成 24 年度
(1) 文部科学省科学研究費	9 件 (2,370 万円)
(2) 厚生労働科学研究費	1 件 (100 万円)

(3) 他政府機関による研究助成	2 件	(440 万円)
(4) 財団助成金	1 件	(200 万円)
(5) 受託研究または共同研究	1 件	(300 万円)
(6) 奨学寄附金その他 (民間より)	17 件	(795 万円)

(1) 文部科学省科学研究費

- 金山尚裕 (代表者) 基盤研究 (B) 羊水塞栓症の救命法と予知・予防の開発 790 万円 (新規)
- 伊東宏晃 (代表者) 基盤研究 (B) 胎児期低栄養と良好な授乳期発育が成人期の生活習慣病発症におよぼす影響の基礎的解析 580 万円 (新規)
- 杉原一廣 (代表者) 挑戦的萌芽研究 精子運動を亢進し受精率を改善する薬剤開発を目指したトランスレーショナル・リサーチ 50 万円 (新規)
- 内田季之 (代表者) 基盤研究 (C) 妊産婦と胎児環境における亜鉛の重要性と補充療法の有効性の検討 140 万円 (新規)
- 伊東宏晃 (代表者) 挑戦的萌芽研究 質量顕微鏡を用いたヒト胎盤絨毛における生体高分子発現の解析方法の開発 130 万円 (継続)
- 杉原一廣 (代表者) 基盤研究 (B) 腫瘍血管内皮を標的とする分子標的治療薬の開発 420 万円 (継続)
- 鈴木一有 (代表者) 基盤研究 (C) 近赤外線分光法による胎盤酸素化動態に胎児循環がおよぼす影響についての基礎的検討 80 万円 (継続)
- 田村直顕 (代表者) 基盤研究 (C) 着床部位子宮内膜組織のヒト絨毛性ゴナドトロピンを介する細胞内情報伝達系の解明 130 万円 (継続)
- 森島賀子 (代表者) 挑戦的萌芽研究 羊水塞栓症診断のための新規 Zn-CP I 測定法の開発 50 万円 (継続)

(2) 厚生労働科学研究費

- 金山尚裕 (分担者) 人工妊娠中絶、妊産婦死亡の地域格差に関する研究 100 万円 (継続)
代表者 三重大学医学部産科婦人科教室 池田智明

(3) 他政府機関による研究助成

- 金山尚裕 (代表) 独立行政法人 科学技術振興機構 (JST) 研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP) 新規深部静脈血栓症予知マーカー (APC 感受性) 簡易測定法の開発 90 万円 (継続)
- 杉原一廣 (代表) 独立行政法人 科学技術振興機構 (JST) 知財活用促進ハイウェイ試験研究 悪性腫瘍血管表面特異的新規ペプチドを用いた医薬品開発 350 万 (新規)

(4) 財団助成金

- 金山尚裕 (代表者) 羊水塞栓症の血清診断事業 財団法人日母日本産科婦人科おぎゃー献金 200 万円 (継続)

(5) 受託研究または共同研究

- 杉原一廣: 内視鏡検査における大腸癌を標的とした蛍光プローブの開発 (オリンパス(株))
研究期間: 平成 23 年 7 月 4 日～平成 25 年 3 月 31 日 300 万円

6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表, 総括

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件	23 件
(2) シンポジウム発表数	2 件	2 件
(3) 学会座長回数	1 件	18 件
(4) 学会開催回数	0 件	2 件
(5) 学会役員等回数	0 件	35 件
(6) 一般演題発表数	8 件	

(1) 国際学会等開催・参加

1) 国際学会・会議等の開催

- 2) 国際学会・会議等における基調講演・招待講演
- 3) 国際学会・会議等でのシンポジウム発表

1. Suzuki-Anekoji M, Shibata TK, Nakayama J, Akama TO, Sugihara K, Fukuda M, Fukuda MN:

Targeted drug delivery to tumor vasculature by the IF7 peptide in mouse glioma model.

Joint meeting of the Society for Glycobiology and the American Society for Matrix Biology.

1012. November 11th – 14th in San Diego, CA. USA

2. Sugihara K et al.: Identification of mono- and disulfated N-acetyl-lactosaminyl oligosaccharide

structures as epitopes specifically recognized by humanized monoclonal antibody HMOCC-1 raised

against ovarian cancer. The 15th Annual San Diego Glycobiology Symposium, 2012 in Kona Kai Resort

& Spa of San Diego, CA. USA.

4) 国際学会・会議等での座長

1. Naohiro Kanayama IFPA(International Federation of Placenta Associations Meeting 2012) International Conference Center Hiroshima, Hiroshima, Japan 18 – 21 September 2012.

5) 一般発表

口頭発表

ポスター発表

1. Naomi Furuta: Immunohistochemical Detection of Meconium in the Placenta, Fetal Membrane and Umbilical Cord. IFPA(International Federation of Placenta Associations Meeting 2012) International Conference Center Hiroshima, Hiroshima, Japan 18 – 21 September 2012.

2. Naomi Furuta: Immunohistochemical Detection of Meconium in the Lung of Asphyxiated Newborns. IFPA(International Federation of Placenta Associations Meeting 2012) International Conference Center Hiroshima, Hiroshima, Japan 18 – 21 September 2012.

3. Keiko Muramatsu: Birth weight and differences of 11 β -hydroxysteroid dehydrogenase Type 1 and 2 gene expression in placentas of Japanese women enrolled in Hamamatsu

4. Birth Cohort for Mother and Children Study (HBC). IFPA(International Federation of Placenta Associations Meeting 2012) International Conference Center Hiroshima, Hiroshima, Japan 18–21 September 2012.
5. Kaori Yamazaki: The association between grade three funisitis and fetal inflammatory response syndrome(FIRS). IFPA(International Federation of Placenta Associations Meeting 2012) International Conference Center Hiroshima, Hiroshima, Japan 18–21 September 2012.
6. Kotomi Nagahashi: Successful Management of Deliveries of a Woman with PAI-1 Deficiency -A Critical Role of PAI-1 in the Maintenance of Pregnancy-. IFPA(International Federation of Placenta Associations Meeting 2012) International Conference Center Hiroshima, Hiroshima, Japan 18–21 September 2012.
7. Chizuko Yaguchi: Impaired glucose tolerance makes an influence on the placental pathology. IFPA(International Federation of Placenta Associations Meeting 2012) International Conference Center Hiroshima, Hiroshima, Japan 18–21 September 2012.
8. Chizuko yaguchi: Morphological comparison of placental stem villi arteries between term AGA and SGA newborns. IFPA(International Federation of Placenta Associations Meeting 2012) International Conference Center Hiroshima, Hiroshima, Japan 18–21 September 2012.

(2) 国内学会の開催・参加

1) 主催した学会名

1. 第6回日本早産予防研究会学術集会
2. 第30回周産期医療研究会

2) 学会における特別講演・招待講演

1. 金山尚裕: 共同企画-2 妊産婦死亡報告からみた母体安全への提言 3)分娩時大量出欠 ① 羊水塞栓症 第64回日本産科婦人科学会 4月 神戸
2. 金山尚裕: 羊水塞栓症と産科出血の管理 第24回新潟周産母子研究会学術講演会 7月 新潟
3. 金山尚裕: 羊水塞栓症について 第7回国立循環器病センター周産期サマーセミナー 8月 吹田
4. 杉原一廣: 腫瘍血管表面のみを標的とする新規ペプチド IF7 をキャリアーとした 抗腫瘍薬創薬シーズ・基盤技術アライアンスネットワーク (DSANJ) 疾患別商談会 8月 大阪
5. 杉原一廣: 糖鎖を模倣するペプチド「IF7」による腫瘍血管を標的とする癌治療 2012年信州大学医学部セミナー 8月 松本
6. 金山尚裕: 羊水塞栓症と産科出血 第6回千葉県産婦人科臨床問題研究会 9月 千葉
7. 内田季之: 亜鉛は足りていますか? 第3回羽衣セミナー 9月 静岡
8. 杉原一廣: 糖鎖を mimic するペプチド「IF7」による腫瘍血管を標的とする癌治療と診断 第

- 42 回 Medical Photonics Seminar、9 月 浜松
9. 金山尚裕:分娩発来機構からみた早産管理 平成 24 年度高知周産期医療関係者研修事業 10 月 高知
 10. 杉原一廣:糖鎖を模倣するペプチド“IF7”による腫瘍血管を標的とする癌治療薬 BioJapan 2012. World Business Forum. 10 月 横浜
 11. 金山尚裕:早産 出雲産婦人科医会臨床研究会 10 月 出雲
 12. 金山尚裕:妊娠力をつける—体質改善のアドバイス— 不妊専門クリニックが考える アンチエイジング市民公開講座 11 月 静岡
 13. 杉原一廣:瘍血管表面のみを標的とする新規ペプチド IF7 をキャリアーとした抗腫瘍薬 Highly efficient tumor vasculature-targeting drug delivery by carbohydrate mimetic peptide IF7. 科学技術振興機構 (JST) 医学部合同新技術説明会 11 月 東京
 14. 杉原一廣:平成 24 年度 SBS 公開講座 浜松医科大学公開講座「無病息災を目指す健康管理」子宮頸がんの予防:検診とワクチン 11 月 浜松
 15. 金山尚裕:あなたの不安を解消します—産婦人科からのアドバイス— 12 月 焼津
 16. 杉原一廣:糖鎖を mimic するペプチドを用い腫瘍血管内皮細胞を標的とするドラッグデリバリーシステム 2012 年独立行政法人産業技術総合研究所・糖鎖医工学研究センターセミナー 12 月 つくば
 17. 金山尚裕:羊水塞栓症と DIC 第 10 回愛知分娩監視研究会 1 月 名古屋
 18. 金山尚裕:羊水塞栓症と産科出血 第 77 回栃木県産科婦人科学会 1 月 宇都宮
 19. 内田季之:妊産婦と胎児環境における亜鉛の重要性と補充療法の有効性 第 6 回近畿亜鉛栄養治療研究会学術集会 2 月 大阪
 20. 内田季之:産科危機的出血と羊水塞栓症 第 6 回名古屋大学産婦人科若手医師向け勉強会 2 月 名古屋
 21. 内田季之:静岡県における女性医師復職支援の取り組み 平成 24 年度医学生、研修医などをサポートするための会 2 月 福井
 22. 杉原一廣:腫瘍血管表面特異マーカーアネキシン 1 を標的する IF7 を用いた抗腫瘍薬 平成 24 年度バイオビジネスアワード JAPAN 2 月 大阪
 23. 杉原一廣:「ペプチド医薬の技術突破は本物か?」:血管親和性ペプチド IF7 の開発とビジネスモデル バイオフィナンスギルド第 11 期第 8 回セミナー 3 月 東京
- 3) シンポジウム発表
1. 鈴木一有:近赤外線分光法による FGR 合併妊婦の胎盤評価 第 36 回日本産科婦人科栄養代謝研究会 8 月 鹿児島
 2. 杉原一廣:糖鎖を mimic するペプチドを用い腫瘍血管内皮細胞を標的とするドラッグデリバリーシステム 第 16 回日本がん分子標的治療学会学術集会 6 月 北九州
- 4) 座長をした学会名
- 金山尚裕 第 64 回日本産科婦人科学会 4 月 神戸
 伊東宏晃 第 64 回日本産科婦人科学会 4 月 神戸
 金山尚裕 第 241 回長崎産科婦人科学会 5 月 長崎

金山尚裕 子宮内膜症セミナー 5月 浜松
 内田季之 第17回生殖医学フォーラム 5月 香川
 金山尚裕 第48回日本周産期・新生児医学会 7月 大宮
 伊東宏晃 第48回日本周産期・新生児医学会 7月 大宮
 伊東宏晃 第1回日本DOHaD研究会 8月 和光
 金山尚裕 第36回日本産科婦人科栄養代謝研究会 8月 鹿児島
 金山尚裕 第3回羽衣セミナー 9月 静岡
 伊東宏晃 第3回羽衣セミナー 9月 静岡
 金山尚裕 第33回日本妊娠高血圧学会 9月 長崎
 金山尚裕 第28回日本分娩研究会 11月 福岡
 金山尚裕 第6回日本早産予防研究会 11月 浜松
 伊東宏晃 第6回日本早産予防研究会 11月 浜松
 金山尚裕 日本産婦人科学会静岡地方部会秋季学術集会 12月 三島
 金山尚裕 平成24・25年度日本産婦人科医会がん部会事業研究会「ベセスダシステムと子宮頸がん検診リコメンデーションの普及」と「HPVワクチンの接種率向上に向けて」
 12月 三島
 金山尚裕 第12回東海不妊内分泌研究会 1月 浜松

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

金山尚裕 日本産婦人科学会代議員
 金山尚裕 日本胎盤学会理事
 金山尚裕 日本妊娠高血圧学会理事
 金山尚裕 関東連合産科婦人科学会理事
 金山尚裕 日本栄養代謝学会理事
 金山尚裕 日本周産期新生児学会理事
 金山尚裕 日本産婦人科感染症学会理事
 金山尚裕 日本生殖医学会代議員
 金山尚裕 日本母性衛生学会評議員
 金山尚裕 日本母体胎児学会幹事
 金山尚裕 日本産婦人科新生児血液学会理事
 金山尚裕 中部不妊学会評議員
 金山尚裕 静岡産科婦人科学会長
 金山尚裕 静岡県母性衛生学会常任理事
 杉原一廣 日本婦人科腫瘍学会評議員
 杉原一廣 日本胎盤学会評議員
 杉原一廣 日本生殖医学会評議員
 杉原一廣 日本産科婦人科学会静岡県地方部会日産婦専門医制度委員会委員
 杉原一廣 日本産婦人科医会静岡県支部がん対策委員会委員
 杉原一廣 静岡県治験ネットワーク支援倫理委員会委員

杉原一廣 日本産婦人科医会静岡県支部がん対策委員
 杉原一廣 静岡 CTC(Cancer Therapy Conference)世話人
 杉原一廣 静岡サイコオンコロジー研究会世話人
 杉原一廣 JOGR (The Journal of Obstetrics and Gynecology Research)査読委員
 杉原一廣 Kanto Journal of Obstetrics and Gynecology : 査読委員
 杉原一廣 日本産科婦人科学会静岡地方部会誌 : 査読委員
 杉原一廣 日本婦人科腫瘍学会 婦人科腫瘍専門医
 杉原一廣 日本生殖医学会 生殖医療専門医
 杉原一廣 日本がん治療認定医機構 認定医
 杉原一廣 日本がん治療認定医機構 暫定教育医
 杉原一廣 婦人科腫瘍学会指定修練施設 : 浜松医科大学医学部附属病院 指導責任者
 杉原一廣 JGOG 参加登録施設 : 浜松医科大学医学部附属病院 指導責任者
 伊東宏晃 日本周産期・新生児医学会評議員
 伊東宏晃 日本内分泌学会代議員、評議員
 伊東宏晃 日本心血管内分泌代謝学会評議員

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	2件	0件

- (1) 国内の英文雑誌等の編集
- (2) 外国の学術雑誌の編集
- (3) 国内外の英文雑誌のレフリー

内田季之 2回 Journal of Obstetrics and Gynecology Research (Japan)

谷口千津子 5回 Journal of Obstetrics and Gynecology Research (Japan)

9 共同研究の実施状況

	平成24年度
(1) 国際共同研究	4件
(2) 国内共同研究	6件
(3) 学内共同研究	0件

(1) 国際共同研究

1. 杉原一廣 : 腫瘍血管内皮細胞を標的とするペプチドを用いた新規抗癌剤の開発

Sanford-Burnham Medical Research Institute (USA)

論文 : Sugihara K, et al. *Proc Natl Acad Sci U S A*. 106(9): 3095-3100, 2009.

Sugihara K, et al. *Proc Natl Acad Sci U S A*. 108(49):19587-92, 2011.

特許 : Sugihara K, et al.

「METHODS AND COMPOSITIONS RELATED TO ANNEXIN 1-BINDING COMPOUNDS」

特願 2012-546245 (平成24年6月22日移行日)

日、米、欧、カナダ、シンガポールへ移行済み

US 13/515,930 (平成 24 年 6 月 14 日移行日)

EP 10803326.7 (平成 24 年 6 月 25 日移行日)

CA 2784645 (平成 24 年 6 月 14 日移行日)

SG 201204665-2 (平成 24 年 6 月移行日)

2. 杉原一廣：子宮内膜症に対する分子標的治療薬の開発
Sanford-Burnham Medical Research Institute (USA)、 Texas Biomedical Research Institute (USA)
3. 杉原一廣：新規超早期診断法の開発
Sanford-Burnham Medical Research Institute (USA)、国内：浜松ホトニクス(株)
4. 杉原一廣：精子運動能と受精率を改善する薬剤の開発
Sanford-Burnham Medical Research Institute (USA)
特許：「精子活性化剤およびそれを用いた活性化方法」
特願 2012-206711 (平成 24 年 9 月 20 日出願)

(2) 国内共同研究

1. 金山尚裕：子宮筋の非侵襲的酸素動態モニタリングの開発 (昭和大学, 国立循環器病センター, 浜松ホトニクス)
2. 金山尚裕：コンピュータシミュレーションによる難産診断装置の開発 (川崎医療短大)
3. 金山尚裕：ウリナスタチンによる早産防止の検討 (日本早産予防研究会)
4. 金山尚裕：胎児および子宮筋パルスオキメータの開発 (静岡大学)
5. 杉原一廣：蛍光プローブの開発 (オリンパス)
6. 杉原一廣：新規超早期診断法の開発 (浜松ホトニクス)

(3) 学内共同研究

10 産学共同研究

	平成 24 年度
産学共同研究	3 件

1. 金山尚裕：浜松医科大学サプリメント企画、販売 (豊橋技術大学 TLO)
2. 杉原一廣：内視鏡検査における大腸癌を標的とした蛍光プローブの開発 (オリンパス)
3. 杉原一廣：新規 PET 増感剤の開発 (浜松ホトニクス)

11 受賞

- (1) 国際的な授賞
- (2) 外国からの授与
- (3) 国内での授賞

杉原一廣 第 3 回平成 24 年度バイオビジネスアワード

バイオビジネスアワード JAPAN (大阪府、大阪商工会議所他)

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

13 この期間中の特筆すべき業績, 新技術の開発

1. 腫瘍新生血管を標的とするペプチドを用いた抗腫瘍薬・診断薬の特許が各国移行の段階となった。
(杉原一廣)
2. 新規に開発中の DDS 型抗腫瘍薬の将来性が認められバイオビジネスアワードを受賞した。
(杉原一廣)

14 研究の独創性, 国際性, 継続性, 応用性

15 新聞, 雑誌等による報道

1. 金山尚裕: H24 年 7 月 浜松医科大学に寄付講座 (地域密着家庭医を養成)
2. 杉原一廣: 若い時からの検診大切 平成 24 年 11 月 5 日 静岡新聞
3. 杉原一廣: 無病息災を目指す健康管理 子宮頸がんの予防: 検診とワクチン 平成 24 年 11 月 18 日 静岡新聞
4. 杉原一廣: 無病息災を目指す健康管理 子宮頸がんの予防: 検診とワクチン 平成 24 年 11 月 18 日 SBS ラジオ 放送
5. 杉原一廣: サイエンス・レポート 「死に至る病」あと何年で死ななくなるか。かつての「死病」が、完治できる病になる日はそう遠くない。 2012 年 週刊ポスト